

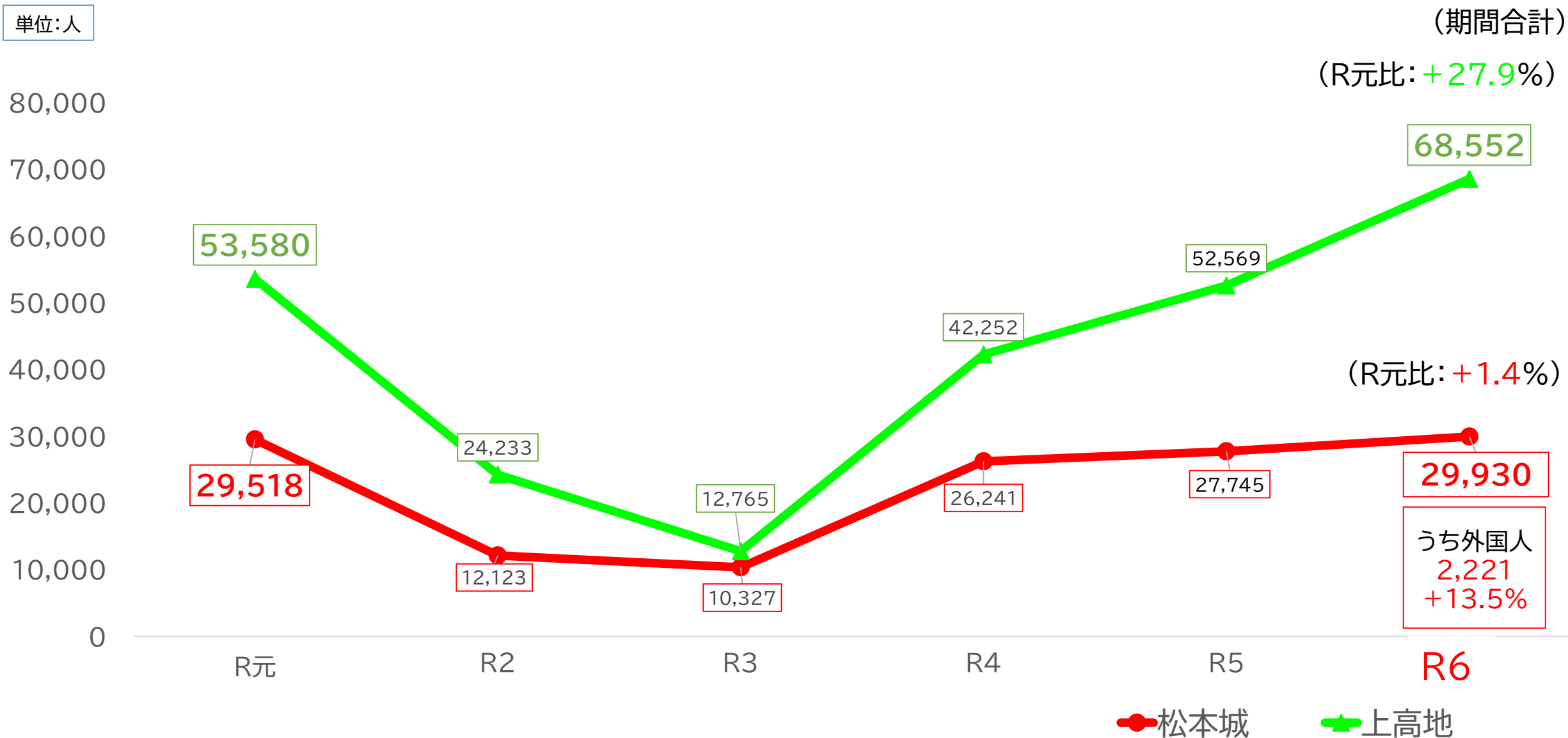
R元比

お盆休み中の観光客 コロナ前を上回る

松本城 29,930人 +1.4% 上高地 68,552人 +27.9%

市長記者会見資料
6 . 8 . 2 0
文 化 観 光 部

単位:人



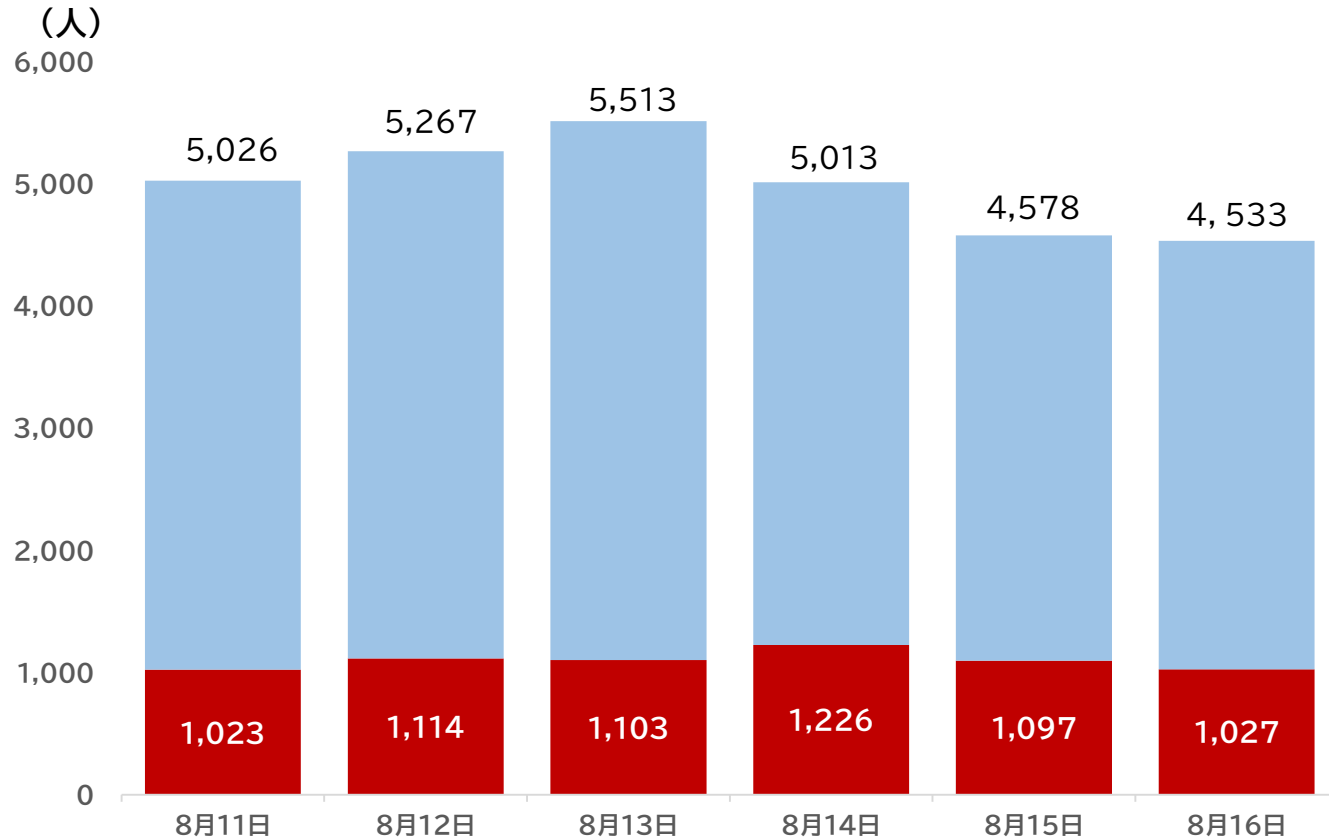
国宝松本城 電子チケット導入 日時指定で快適に観覧

市長記者会見資料

6. 8. 20

松本城管理課

お盆期間の利用状況



🏰 電子チケット利用率 平均22%

🏰 「日時指定あり」(約1,000枚/1日) 連日ほぼ完売

導入後の変化

○券売所

- ・待機列が**解消**
(最大60分→最大5分)



○天守登城

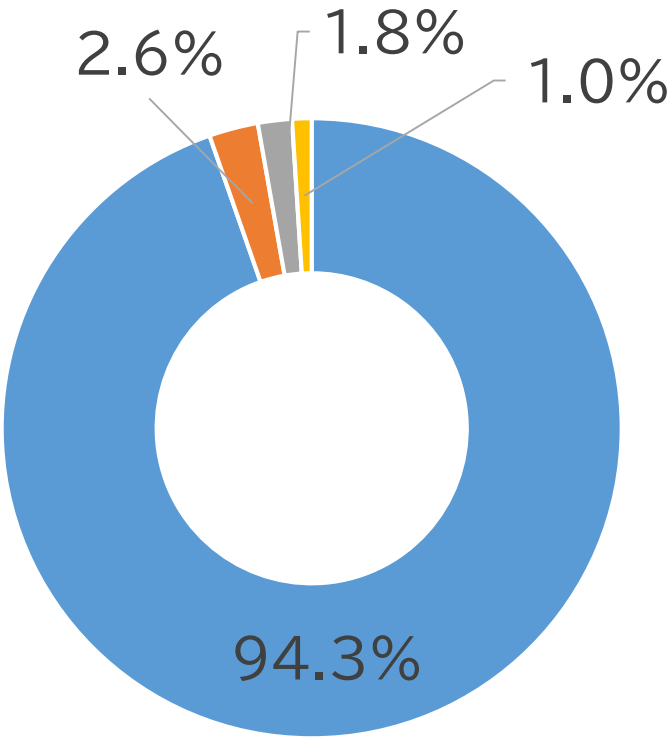
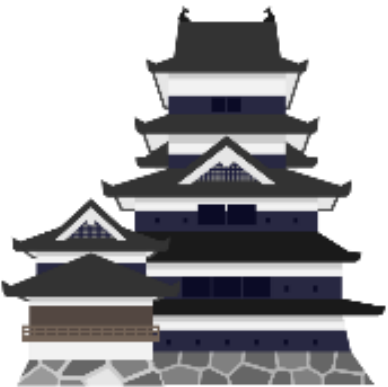
- ・待機列が**短縮**
(最大約1,000人→最大約600人)
- ・待機時間
「日時指定あり」……………なし
「日時指定なし」「紙チケット」…20分増加
※熱中症予防のため設置したテントで待機



国宝松本城 電子チケット導入 外国人観光客への浸透に課題

8月11日～16日の来場者(電子チケット利用6,229人※)

■ 県外 ■ 県内(松本市外) ■ 海外 ■ 市内



来場者居住地 トップ10			(人)
1	東京都	1,265	
2	神奈川県	753	
3	愛知県	665	
4	埼玉県	579	
5	大阪府	322	
6	千葉県	320	
7	静岡県	318	
8	兵庫県	172	
9	長野県 (松本市外)	159	
10	群馬県	172	
16	海外	110	

国宝 松本城

(日時指定)観覧券
(日時指定)観覧券 大人
チケットID:
80083-2024-0702-8100-0010-0014
ご利用日時:
2024年7月29日(月)10:30～11:00

QRコードをダウンロード

*QRコードは1枚ずつダウンロードして端末に保存することができます。
保存したQRコードは同行者への分配が可能です。

アメリカ	23	
フランス	14	
スペイン	11	
イタリア	11	
中国	9	
ドイツ	7	等

※統計取得可能な「WEBKET」システムを通じた購入者分

“宿泊税”の必要性を検討 (仮称)松本市観光振興のための財源確保検討委員会

市長記者会見資料

6. 8. 20

観光プロモーション課

国際文化観光都市としての魅力を高め、持続可能な観光地の実現を目指す

検討委員会の概要

メンバー 学識経験者 / 観光関係団体代表者 / 経済団体代表者 / 宿泊事業者代表者 等 合計6名を予定

検討事項

- ▶ 観光振興財源に係る独自課税の必要性
- ▶ 使途
- ▶ 制度設計 など

ことし10月以降に
第1回検討委員会を開催

県の状況

(仮称)観光振興税を検討中
令和8年4月の導入を目指す

年内をめどに市長へ提言



特定プラスチック転換支援補助金

R4冬、市内宿泊事業者と「ワンウェイプラスチックに頼らない持続可能な観光地」を目指し『エコ旅宣言』
→ 歯ブラシの提供を辞退する宿泊客に電子クーポンを贈呈するキャンペーンを実施

新規補助金 ホテルや旅館、飲食店、クリーニング店などが客に提供する
プラスチック使用製品 を **プラスチック代替製品** に転換する費用を支援

特定12品目

フォーク	スプーン	テーブルナイフ	マドラー
飲料用ストロー	ヘアブラシ	くし	かみそり
シャワーキャップ	歯ブラシ	衣類用ハンガー	衣類用カバー

転換

以下のいずれかに当てはまるもの

- ▶ バイオマスマーク認定商品(バイオマス度25%以上)
- ▶ バイオマスプラマーク取得商品
- ▶ 紙、木等を主たる素材とする製品



R8年度までの
時限的補助

対象者

- ◇ まつもとエコ旅宣言の発出団体に加盟している宿泊事業者
- ◇ 各種商品小売業、飲食料品小売業、飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業、洗濯業のいずれかの事業を営んでいる者

補助金額

プラスチック使用製品購入経費と
プラスチック代替製品購入経費の差額全額

限度額

【宿泊事業者】

定員	～20人	5万円
	・21人～50人	10万円
	・51人～	15万円

【その他の事業者】

5万円

特定プラスチック転換支援補助金

環境省
「2030年までに
使い捨てプラスチック
排出量25%削減」

信州大学

swee
プロジェクト

連携

第1弾

マイボトル利用促進事業



第2弾

テイクアウト容器
リユース事業
(アルパッケ)



第3弾

まつもとエコ旅事業



第4弾

イベント用リユース食器
導入事業



第5弾

特定プラスチック
転換支援事業



“社会の縮図”で脱炭素を考える 気候市民会議まつもと



気候市民会議とは

- ・ 2019年以降ヨーロッパで広がり、日本でも札幌市、川崎市など18自治体で開催 **長野県内では初めて開催**
- ・ 特定の業界や利害関係者の影響を受けにくく、**市民に受け入れられ、効果の大きい気候変動対策**を提示できる

無作為に選ばれた市民が、
複数回の会議に参加

専門家と市民が行動すべき
事柄を話し合う

アクションプランとして
発表

- アクションプランは、
- ・ 参加者の行動変容につなげる
 - ・ 参加者以外の市民にも広げる
 - ・ 市の政策決定や取組みに活用

気候市民会議まつもと

実施主体 気候市民会議まつもと実行委員会

【実行委員長】 信州大学人文学部 茅野恒秀准教授
(松本市環境審議会委員、MZCC運営委員長)

【実行委員】 Y-CAM (Young Climate Assemblies in Matsumoto)
(有志の学生組織。参加者の伴走支援やプランの作成に携わる)

【事務局】 信州大学グリーン社会協創機構、松本市環境・地域エネルギー課

【アドバイザー】 名古屋大学 三上直之教授
(研究PJ代表、気候市民会議を国内で先駆的に進める)

参加者の決定

16歳～74歳の市民5000人を無作為に抽出。
応募があった274人から最終的に50人を決定

会議日程

会議は傍聴可(各回ごと事前申込制)
詳細は市ホームページから

会議

9月～来年1月まで6回開催
専門家のレクチャー、グループや全体で話し合い

報告会

来年3月に開催予定
アクションプランを発表